

海老名市立海西中学校 学校運営協議会 議事録
(令和7年度 第2回)

- 1 日時 令和7年11月12日(水) 14:00～15:30
- 2 場所 海老名市立海西中学校 会議室
- 3 出席委員 内藤奈美恵委員長、山本典男委員、加来功委員、鍵渡香代子委員、
遠藤一義委員、清水匠委員、盛智史委員

4 会議の内容

(1) 学校長挨拶
委員長挨拶

(2) 協議

(1)「QU(WE B版)」について

遠藤校長：海西中学校では長く取り組みをしてきた。QUとは「楽しい学校生活を送るためのアンケート」であり、学校生活における満足度や意欲、学級集団の状態などに答えるアンケートである。

研究の経緯は、平成19年までさかのぼり、当初は「人間関係づくりを育む指導力の研究」として校内研究を行い、平成27年度から「QU」を導入した。3年前から「特色ある学校づくり」の中心としてQUの取り組みを見直し、外部講師の導入、学級から学年、学校全体のフィードバックの充実に力を入れている。「学級や学年の集団の見立て」を丁寧に学年会等で扱い、教師集団の共通認識や理解のもと組織的に進めている教育活動の成果の1つと考えている。

山本委員：QUの説明や意義を発信し続けることで、異動等で職員構成が変わっても効果的なものとして活用できるものとなるので予算を確保し、継続していくべきである。

加来委員：研修を重ねていくこと、講師に来てもらうことで教員の育成にもつながり、生徒のためにもなり、意義があるものになっていくので継続していくべきである。

鍵渡委員：海西中学校として成果が表れているものであるならば、予算を確保して継続していくべきものである。

内藤委員：異動等で職員構成や担任が変わったとしても、資料として有効に活用でき、生徒のためになるならば、引き続き継続していくべきものである。

(2) 令和7年度 全国学力学習状況調査について

遠藤校長：国語、数学、理科は、全国平均、県平均を上回っている。特に数学は、2年生と3年生で少人数指導を行い、基礎コースと一般コースで習熟度別にやっていることが成果として出ているのではないかと考えられる。

(3) 令和8年度に向けて

遠藤校長：学校教育目標は、中学校区で統一しているものなので、来年度も変更の予定は特になし。重点目標は、1年目が「優しさ」について考える、2年目が「優しさ」に気づくときている。来年度は3年目となるので、今までは「皆さんの周りにはありませんか」と問いてきたので、次は「皆さんはどうですか」と自分から「優しさ」を表現できるような目標を考えている。

(4) その他

令和7年度 第3回学校運営協議会 令和8年2月上旬頃予定